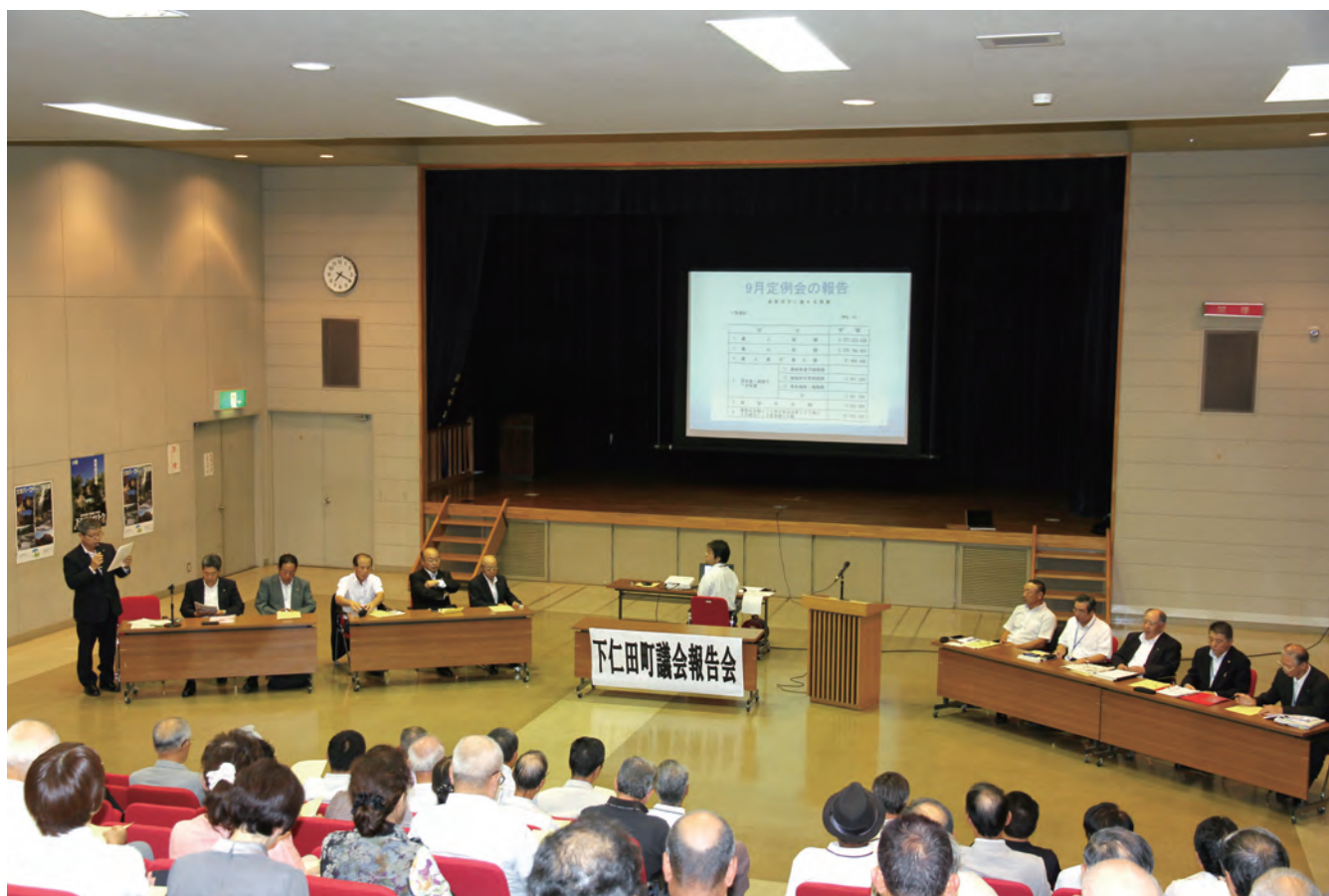


# ひしもにた

## 議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



下仁田町議会報告会



工事が進む下仁田町学校給食共同調理場  
(平成 29 年 3 月末 完成予定)

**あなたと議会を結ぶ  
確かな情報と信頼**

<b>主な 内容</b>	特集 下仁田町議会報告書	2~4
	一般質問	5~6
	委員会報告	7~10
	審議結果	11
	シリーズ消防団	12

# 特集 下仁田町議会報告会

## 平成28年9月26日実施 (約70人が参加)

あいさつ

議会報告会をご案内しましたところ、たくさんの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

昨年の9月に議会基本条例が制定されました。今まで議会の行動、役割、責務は文章化されておりませんでした。この機に下仁田町議会においても下仁田町としての議会基本条例を制定するという趣旨から始まりました。

議会基本条例は3つの柱からなっております。  
(1)議員各位の資質向上  
(2)住民に模範となるような言動、行動を行うこと、政策提案を行い、議員自ら町執行側に提言をするよう努める。

(3)広く議会を知ってもらい住民と交流を持ち傍聴意欲を高め開かれた議会を目指す。

以上の3つからなっており、3つ目の開かれた

議会ということから議会報告会開催ということになりました。

傍聴意欲を高めるということですが、6月に18歳から参政権が与えられましたので、高校生を呼んでいたきました。下仁

田高校3年生全員がA班・B班に分かれてじっくり傍聴していただきましたのでご報告いたします。

議長 佐藤勇二



冒頭、主催者の議会運営委員長から、今回議会報告会を開催するにあたり説明を行いました。

◆下仁田町議会活動について

副議長 岩崎正春

・議会の仕組み  
・役割の説明

◆下仁田町議会の特徴は、一般質問は、一問一答方式であり、議会基本条例が制定されていること。

下仁田町議会の特徴や提案内容については、町議会では、議会発議による17の条例から成り立っている。

特に過去4年間で見ると、平成24年12月議会では下仁田町議会議員不当要求行為等を防止する条例を、平成27年10月に議会基本条例を制定した。

また、平成28年3月には議員の諸給与の減額など定めた特例条例を(この条例の特徴は、辞職勧告した議員も対象にしたこと)制定した経緯など。

◆下仁田町議会が過去4年間に行った主な提言を紹介

1 ワクチン接種費用の引き下げ(議員報酬引き下げ分を充当)平成24年

2 中学生まで医療費無料化

3 人口減少非常事態宣言(平成25年)

企業誘致などのために町有地活用を基本に

①第2東団地の供給策

②旧馬山小跡地の埋蔵文化財調査

③旧西牧小跡地の埋蔵文化財調査

④空家対策の具体的対策

4 町有地を移住定住向けに利活用

5 小・中学生への医療や就学支援

6 総務省地域力創造アドバイザー吉弘拓生氏(現副町長)を招いて地方創生の講演会開催(平成26年12月)

議会定例会や委員会活動紹介は担当委員（議員）が説明にあたり、2 常任委員会、3 特別委員会の会議や委員会の所管における町内外視察、指摘事項や提言などを紹介しました。

◆9月定例会の報告

（決算）堀口博志

平成27年度一般会計決算実質収支に関する調査の説明をしました。

◆総務常任委員会

委員長 原 秀男

◆総務常任委員会協議会  
所管事項について協議（毎月実施）

◆視察研修 山梨県山梨市「空き家バンク制度」、中央市「防災安全センター」（平

◆社会経済常任委員会  
委員長 木暮弘元

成28年2月実施）の視察報告をしました。



益子町議会 平成28年10月

平成27年11月	山形県大江町議会
"	静岡県小山町議会
平成28年4月	群馬県前橋市議会
平成28年7月	鳥取県大山町議会
"	島根県松江市議会
平成28年8月	岡山県新見市議会
平成28年10月	栃木県益子町議会
"	岩手県二戸市議会

◆社会経済常任委員会協議会（所管事項について協議（毎月実施））

◆管内視察 町道0109号線他12力所（平成27年11月実施）

◆視察研修 栃木県茂木町道の「新ボイラーを活用したうなぎ養殖」（平成28年2月実施）

◆管内視察 有害鳥獣檻 異設置箇所及び荒船の湯空調設備（平成28年6月実施）

◆社会経済常任委員会は開かれた議会を指しています。委員会の傍聴をご希望の方、要望書を提出した方等審議過程をご覧いただけます。

日程については、議会事務局にお問い合わせください。

◆議会運営委員会  
委員長 島崎紘一

◆円滑な議会運営を図るため、議会運営の全般について協議し、調整を図

る委員会です。  
・議会運営に関する事項  
・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項  
・議長の諮問に関する事項

◆監査委員 岡田武二  
平成27年度決算の結果  
◆検討課題

①旧下仁田福祉の湯について、今後利活用を検討されたい。

②観光課の事業について、単費で行われている事業に補助金対象となる内容が含まれていた。今後は課を超えて広く協議し、極力補助金等を活用されたい。

③ジョパークの経費について、国庫等補助金の活用ができるか調査し、あわせて今後の方針について、検討されたい。

◆広報発行特別委員会  
委員長 永井正之

◆広報発行特別委員会設置（平成10年9月14日）  
◆広報は、定例会後に年4回発行。町民に議会と行政に対する関心を高めてもらい、親しまれる広報を目指している。

◆平成27年12月定例会から委員会の公開を実施  
◆予算決算特別委員会の主な質疑は議会だよりに掲載している。

◆どんな形で予算が作られるのか、審議をされるのか、どんな形で決算を認定するのは是非傍聴していただきたい。

②学校跡地の利活用  
③定住促進住宅（吉崎宮畑に三区画造成二区画申込済）

◆予算決算特別委員会  
委員長 佐藤 博

◆平成27年12月定例会から委員会の公開を実施  
◆予算決算特別委員会の主な質疑は議会だよりに掲載している。

◆どんな形で予算が作られるのか、審議をされるのか、どんな形で決算を認定するのは是非傍聴していただきたい。

◆少子化対策  
◆出産祝金  
① 第一子 5万円  
② 第二子 10万円  
③ 第三子 20万円

④保育所保育料 第二子以降無料（条件なし）  
③入学祝金  
小学校、中学校入学時に祝金3万円と商品券2万円分

④現行の結婚祝金5万円のほかに18万円の結婚祝金（要件あり）  
①人口減少対策  
◆空き家の利活用

◆馬山改善センター運営委員会と馬山区長会が昨年10月14日に下仁田町長、議会議長あてに馬山改善センター建て替えに関する要望書を提出した。

平成27年12月7日に議会から要望書の審査結果として「採択」と書面で回答がありました。しかし、いまだに町

質疑応答

問 馬山改善センター運営委員会と馬山区長会が昨年10月14日に下仁田町長、議会議長あてに馬山改善センター建て替えに関する要望書を提出した。

平成27年12月7日に議会から要望書の審査結果として「採択」と書面で回答がありました。しかし、いまだに町

平成27年12月7日に議会から要望書の審査結果として「採択」と書面で回答がありました。しかし、いまだに町

から建て替えに関する計画・連絡がない。現在どのような状況になっているのか。議会として町に対してどのような働きかけをしてきたのか教えてもらいたい。

**議長** 議会としては「採択」ということでコメントした。馬山生活改善センターは非常に利用率が良く、検診・避難場所等いろいろに使用していると聞いている。委員会では採択し、地元議員も一生懸命バック援護をしてきている。

現在は慌てずに良い補助金を見つければ、なるべく負担の少ない建設を見つけないか。今現在では検討中と聞いている。すぐすぐとはいかないがそういう状況です。ご理解願いたい。

**問** 関連した質問になるが、近年、過去にない台風・雨による東北・北海道、甚大な被害が日本中で発生してい

る。下仁田町もいつこのような自然災害が発生するか、例外ではないと思う。そのときに備えて、旧馬山小学校跡地、先程企業誘致という話も出ていたが、

馬山としては生活センター建設と今ある体育館と庭が広いので、合わせて下仁田町全体の避難場として活用できることを考えている。今年も3月31日に、馬山生活改善センター建設用地として町長あてに要望書を提出している。議会としてはどのような考えがあるかお聞きしたい。

**議長** 議会としては、要望書が来たときに「採択」ということしか言えない。なぜなら建物を建てるのは執行。町長を含めた課長たちの会議で予算を立てて、補助金を考えてというふうになっている。議会がすぐにやるように言ってもなかなかすぐには通らないと考えている。

**問** 採択をしていただいたということは、建て替えができるまでお力添えを貰えるということだと思おうのでこれからもよろしくお願いたい。

**問** 防災無線のことですが、夕方の防災無線は言葉がはっきりわからないことが多い。夜は外に出るのも危ないし、有線みたいな形で一軒一軒入ることはできないか。

また、グラウンドゴルフ場については、旧下仁田町にはグラウンドゴルフ場がありません。もし場所があるとしたらできるでしょうか。

**総務委員長** 防災無線が聞こえにくいというお話が町に来ると担当者が家に向きチェックし対応をしている。全戸ということになると大変な予算が掛かるのでなかなか対応しにくい状況である。

**社会経済委員長** グラウンドゴルフ場について

ですが、馬山ゴルフ場、天神平もある。健康面を考えると町内にも一つは欲しいと私も思っている。しっかりと要望にこたえるよう努力したい。

**議長** 防災無線の関係ですが、個々に付けたらどうかということだが、個々の室内向けの防災無線の新設はしていない。それに代わるものとして、携帯やスマホに緊急時に入る下仁田インフォメールがある。申し込みをしておけば火事・地震・災害等の緊急連絡が入る。皆さん加入していただければ災害情報は入ります。無料です。で使っていたらいい。

グラウンドゴルフの件については、社会経済委員長が一生懸命やるということ。土地があればですが、かなりの土地が必要になる。下仁田町のどこにスペースがあるかと考えると厳しいが、下仁

田町にもほしいということですので我々の課題にしたい。

## 参加者の声

### ①参加した動機

・ 定例会の傍聴になかなか行けないので、今回良い機会だから参加した。

・ 全議員の顔や態度を見たかった。

・ 初めての報告会なので参加した。

・ たまには聞いてみたいと思いついた。

### ②感想

・ 説明者の中で、声が聞き取りづらい人がいた。

・ スライドの所が明るすぎて見づらかった。

・ 女性、若人の参加者が少なかった。

・ あまり報告会の意味がなかった。

・ スライドはあまりよくない。

・ 詳細はいらないので要点をプリントして用意

してもらいたい。

・ 質疑応答の時間をもう少し取ってもらいたい。

・ 町民の関心が薄いのか、参加者が少ない。

・ わかりづらい。

・ 町民の関心がなさすぎ。

・ つまらなかつた。

### ③今後の議会活動に臨むこと

・ 議員と意見交換をした。

・ 報告会の時間が短いので、もう少し考えてもらいたい。

・ 議席を現行の12から10議席を望む。

・ 議員を頼りにしているのでもっとしっかりしてほしい。

・ 4年に1度くらいは開いてほしい。



# 町政を問う

■質問事項一覧 >>>

◆佐藤 博 議員 60分・・・6ページ

## 危機管理体制について

- ①防災速報、気象警報等、各種情報を受けての対応はどのようにされているのか？
- ②地震対策はどのように考えておるのか？
- ③6月15日の早朝メールの対応について
- ④町営住宅の鍵の管理について

## スマホ全戸配布計画について

- ①実証事業が終了、得られたことは何か？
- ②スマホの配布については、全て終了ですね？

## 公約について

- ①副町長の選任について
- ②下仁田小学校へのアクセス道路整備について
- ③下仁田高校への特殊専門学科の導入は？
- ④学校跡地の活用、地域振興の推進は？
- ⑤下仁田消防署、西牧分遣所の存続は？
- ⑥下仁田厚生病院の現状について
- ⑦産廃問題、特命機構（財産取得調査委員会）の報告について

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、下仁田町議会のホームページでご覧になれます。

## 一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

### 第3回

## 定例会の概要

▼開会日・一般質問  
(9月6日)

会期を16日までとする決定を行い、佐藤博議員が、町の対応や考えを問いただした。

▼予算決算特別委員会  
(12月13日)

付託された案件の審査を行った。

▼閉会日・採決(16日)

予算決算特別委員長が付託された議案の審査結果報告を行い、採決の結果、委員長報告の通り議案は可決された。

また、議員提案で「下仁田町議会の議員の諸給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」を可決し閉会した。

### ▼政務活動費について

下仁田町の政務活動費の額は、「下仁田町議会政務活動費の交付に関する条例」で議員一人当たり年額2万4000円となっています。

過去には平成16年に産廃問題研究のためと、平成24年にジオパーク視察研修の2度使われました。それ以外の年度は予算化されていません。



佐藤 博 議員

## ●危機管理体制について

**議員** 各種情報を受けた際の対応は。

**総務課長** 各課長等に周知、災害警戒本部の設置を協議、設置。災害

対策本部の設置を検討、設置、1号、2号、3号動員では全職員を招集し、活動します。

**議員** 夜間・休日を含め、マニュアル化されているか。

**総務課長** 防災計画・震災計画はマニュアル化している。

**議員** 6月15日の爆破予告メールに対する当日の対応は。

**総務課長** 9時ごろに、

職員による身の回りの点検、下仁田交番に相談に伺った。富岡署の対応となるとの指示があり、富岡署へは9時40分ごろ相談に伺い、署員が駆けつけ、職員と一緒に、不審物がな

いこの確認を行った。

**議員** このような危機管理の対応にも、マニュアルの作成は必要。

**総務課長** 検討中ですが、防災計画等の見直しを行い、マニュアルを作成したい。

**議員** 個別受信機の設置数と下仁田インフォ

**総務課長** 個別受信機の設置は661個。下仁

田インフォメールの登録は666名です。

**議員** 歩数計の配布数と、緊急通報装置の設置数は。

**保健環境課長** 歩数計は80人です。

**健康課長** 緊急通報装置は高齢者世帯62台です。

## ●スマホ全戸配布計画について

**議員** 全戸配布に関する事業は全て終了ですね。

**町長** 実験が終了し、有益と思われることにつきましては今後検討していく。

**議員** 最終宣言しませんか。

**町長** 最有力と解釈しており、進めるに値する。

**議員** 全戸配布でなくても、対策はとれる。

## ●公約について

**議員** 副町長の選任について、公約に反する。

**町長** 27年3月の議会です、大多数、1人反対で同意をいただいた。

8年前とは事情が異なっており、それらを加味した。

**議員** 公約の取り消しはあり得ない。何年たつても公約は公約だ。公人たる政治家はそうあるべき。下仁田小学校へのアクセス道路の整備について、進捗状況

は。

**建設ガス水道課長** 県代

行で進めている仲町新道に接続する形で整備予定、9月から現地の詳細測量に着手する。

**議員** いつ完成する予定か。

**町長** 地域の要望を得て始めた道路に併設しており、その道路の完成を目指している。

**議員** 測量の承諾書はとったのか、承諾の必要はないのか。  
**建設ガス水道課長** 承諾

は必要ですが、承諾書までは必要はないと思います。

**議員** 町長の答弁に「同意を得た」という言葉がありました。2月10日に説明会があったが、その後には何の話もない、了承してないよ」という地権者がいる。地権者とよく話し合う必要がある。

**町長** 県で進めている統合の問題は、下仁田高校が存続できるという経緯になり、そういった努力を、発言してきたという経緯です。

**議員** 下仁田消防署西牧分遣所の存続は、どんな計画になつておるか。

**総務課長** 平成38年度に分遣所を閉鎖する計画である。

**議員** 10年後に閉鎖か。分遣所の存続を公約された、どうなったのか。

**町長** 分遣所のお話は数年前から話が始まり、存続については、地元の人達、区長、議員各位からもご支援、ご協力をいただいて、存続の方向で今までできたという経緯です。

**議員** 下仁田厚生病院について、21年度、22年度は黒字経営と思うが。

**健康課長** 21、22の黒字は認識している。

**議員** 建設とあわせ赤字に転落、現在は15億円

の累積赤字。公約に、病院経営に対する理想を掲げた。どんな努力をいただけたのか。

**町長** 病院のこの発言は控えさせていただき

ます。地域の医療として必要なところに投資をし、病院の建設をした。大事な事業を成功させたと考えている。

**議員** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**町長** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**議員** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**町長** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**議員** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**町長** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**議員** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**町長** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

**議員** 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。

予算決算特別委員会（傍聴者延5人）

▼主な質疑

◆平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）

【歳出】

**問** 結婚祝金の補正について今までなかった事業か。

**答** 新たな事業です。結婚新生活支援事業ということで、国の補助率が4分の3である。低所得者を対象に、結婚を機に下仁田町に定住を希望する者に対して、住宅費、引っ越し費用を支援して、経済的負担の軽減を図るためのものである。低所得者の基準は、世帯所得が300万円未満の者で補助の上限額は18万円である。

**問** 現在ある結婚祝金は別と考えていいか。

**答** 今まで通り、結婚祝金5万円は支給され、要件にあえば、結婚新生活支援補助金も支給される。

**問** 地域おこし協力隊について、1人減だが今後募集しないのか、国の事業だが、欠員で大丈夫か。

**答** 1人辞退しました。今後募集を行い応募があれば補正予算で対応したい。

**問** 有害鳥獣対策及び小規模農村整備事業の補助率はどのくらいか。また、いつから実施しているのか。

**答** 小規模農村整備事業の補助率は、県2分の1・町4分の1、有害鳥獣対策の補助率は、町2分の1である。県の補助事業を優先して活用してもらい、適用とならない事業については町の補助を活用してもらっている。補助要綱は、平成27年7月1日に制定し、平成28年8月1日に一部改正をしている。

**問** 観光費の神津牧場トイレ新設設計業務委託

について、施工予定と補助金活用、位置等について説明を。

**答** 今年度中に設計して、来年度に群馬県補助金（千客万来事業補助金）を活用して、施工したい。

**問** 場所は、現在は県道の西側に位置しているが、傾斜地でありバリアフリー対応の観点から、東側に移設して、高齢者等も利用しやすいトイレ整備を行いたい。

**問** ジオパーク推進費の自然史館学芸専門員報酬について。

**答** 現在、自然史館では、登録博物館化に向けて動いている。今後、博物館として開館していく上での資料や蔵書の整理、博物館活動など博物館学芸員に指導していただくため、月に7日、5カ月の博物館学芸員日当を計上した。再認定審査時の指摘事項「ジオサイトの科学的根拠」の裏付けの信頼度を上げるためにも効果があると考えている。

◆平成27年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について

【歳入】

**問** 固定資産税の不納欠損額の内訳は。

**答** 総額で674万円余、16名で121件、会社倒産によるものが主なものである。

**問** 相続が出来ていなかったり、支払い義務者が不明だったりした場合、5年毎に不納欠損となるのか。

**答** 請求がされている限り、時効は成立しないことと、所有者死亡後はただちに相続が発生するので、相続人がいる限り不納欠損とはならない。相続放棄している物件については、弁護士等を相続財産管理人に選任し、公売を行っている。

**問** 地域づくり支援事業補助金の支出先等につ

**答** 下小坂地区の獅子舞芸能保存に1万6000円、大東区鎌田地区遊歩道整備事業10万円、緑ヶ丘区環境整備草刈り事業10万円、矢川区瀬成地区百庚申整備事業10万円、川井区AED整備事業2万3000円、旭町区七夕祭り7万6000円。補助率2分の1で補助限度額10万円、6地区に支出している。

**問** 補助対象地域が少ないような気がする。補助率は必要だが、もう少し使いやすい補助事業にしないか。

**答** 4000部を作成し、3900部をふるさと納税寄付者へお礼の品として送った。町の景勝地や観光地、きれいな風景などを撮って作成をした。

**問** 企画費のPRカレンダー作成業務委託とあるが、どのようなカレンダーで何部作成したか。

**答** 春の区長会で区長に周知はしているが、例年概ね5〜6地区が申請している。来年度に向けて内容等を検討したい。

業にならないか。



ふるさと納税寄付者へ

**問** 企画費の封筒デザイン委託料とあるが何か。

**答** ふるさと納税事業で納税をいただいた後に、こちらから受領書等をお送りするが、使用する封筒を作成する際に町の印象を高めるため、デザインを起こしたものの。

**問** デザインはふるさと納税事業に限るのか。

**答** ふるさと納税事業以外でも使用いただけるように周知し、色々な所で使用している。

**問** 企画費のデュアルライフ推進事業、起業支援及び定住促進PR事業、業務委託とあるが内容は。

**答** デュアルライフとは、町に別荘などを構え、二地域を行き来して居住するスタイルをいうもので、町でもその促進をしていきたいと考えている。その施策推進の計画づくりと、HP等様々な所で広報をしていきたいので、そのコンテンツづく

くりをお願いしたものが45万3000円。

また、起業支援及び定住促進PR事業は、移住・定住施策を展開しているが、その広報媒体としてパンフレットやリーフレットの作成及びウェブサイトでの広報などを行ったものが、53万1000円となっている。

**問** いきいき集落づくり助成事業補助金とは何か。

**答** いきいき集落づくり助成事業は県の補助事業で、高崎商科大学と町の「まちづくり委員会」がコラボをして、町の散策マップを1万7500部作成した。効果的に観光主要地に置いたり、イベント等で使用している。県の補助率は事業費の4分の3で、11万3000円を町から支出した。

**問** 庁舎耐震補強工事について、委託料に庁舎物品移転業務委託料等があるが、庁舎耐震補

強工事は総額でいくらかかったのか。

**答** 平成26年度・27年度で庁舎耐震補強工事を実施した。本体工事に4億494万6000円、防災無線移設工事518万4000円、電話配線・LAN工事に1181万6000円、委託料として物品移転業務に449万4000円と工事監理委託業務で866万9000円、

総合計で4億3511万1000円。

**問** 出産祝金について、5万円、23人に支給した。

**問** 各地で災害が発生している、避難準備情報等を流したり、早めの避難等が必要になると思うが、住民に対しての啓発は何か考えているのか。

**答** 過去に行った防災訓練は町の一方所に集



耐震補強工事 筋交い(すじかい)を新設

まっで行うものでしたが、昨年度の訓練は孤立地域の解消を重点に行った。参加された方からは、非常に有意義であったと聞いています。

また、住民意識の啓発については、本年度作成する地域防災マップを全戸配布することによって図りたいと考えている。

**問** 現在の消防団員は何人か。また定数は何人か。

**答** 165人で定員182名。

**問** 出合い交流について、27年度状況は。また、今までと違う取り組みを考えているか。

**答** 27年度は2回イベントを実施し、カップルは1組成立。今後、商工会青年部と共同でのイベントの実施も検討している。

**問** 保育所運営費の関連で、最近馬山保育園の利用者が増えていると聞いたがその理由

は。4月から認定こども園となり、名称も馬山こども園に変更。親の就労場所との関係もあり、馬山の園児が増えていると思われる。

**問** 扶助費の内容で、1626万7000円減額補正し、さらに不用額が1000万7000円あるが。

**答** 福祉医療費助成の補助対象人数が30人くらい減少した。その中でも大きい割合を占める障害者の対象人数は変わっていません。前年度に比べインフルエンザの流行もなく医療費の支出が大きく減少した。

**問** スズメバチ駆除助成金21万2500円について。

**答** スズメバチの駆除については、防護服を無料で貸し出し借用人が自ら駆除する方法のほか、ハチ駆除専門業者に依頼する方法がある。この金額は町民等が、ハチ駆除専門業者



へスズメバチの巣の駆除を依頼した場合、町の補助要綱に従い申請により1件当たり駆除費の2分の1、上限1万円を補助金として支出された合計額である。

**問** 除染対策事業委託費

435万2400円について。また、放射能測定は15地区157地点との説明だったが。

**答** 東日本大震災時の放射能汚染対策特措法による補助事業である。内訳は仮置場監視業務委託料

259万2000円、除染実施計画対象地区空間線量経過観測業務委託料176万円余。測定157地点については環境省のガイドラインを基準に、国の指示により行われている。財源については両業務とも国10分の10の補助で実施されている。

**問** 消耗品の578万4000円余は町指定ゴミ袋購入費とのこと

は、追払いのみか。

だった。関連して店頭販売価格が値上げされたが、経過は。

**答** 昨年度町指定ゴミ袋の納入業者から、原料の価格上昇により町への納入単価値上げの話があった。これまで数回納入価格の値上げがあったが、町指定小売店への卸価格及び店頭小売価格は十数年間据え置きしていた。やむなく値上げを今年4月より行った。

**問** 不妊治療費広告料について。

**答** 上毛新聞の月刊フリーペーパー『デリジェイ』の広告掲載料である。町の不妊治療費助成事業を拡充したので、その周知をするために広告掲載をした。助成額を大幅に増額したこと、住民登録日の治療から助成の対象となるため、転入のきつかけとしたく全県版見開き広告をした。

**問** サル追い隊の業務は、追払いのみか。

は、追払いのみか。

**答** そのとおりである。本来、野猿が生息する山中へ追い上げることが活動の主題としている。

**問** 中小坂二岩地区で、サルの困い罫の実証実験をしているが、サル追い隊がサルを追えば罫に入らなくなる。

**答** サル追い隊員には、困い罫付近に近寄らないよう指導している。

**問** サル追い隊の活動状況を確認できるものがあるか。

**答** 業務日報を提出させている。

**問** 下仁田町経営体育成支援事業補助金は、施設の雪害補助だと思いが事業は完了しているのか。また、総事業費はいくらか。

**答** 事業は平成27年度に全て完了している。総事業費は1億154万7000円である。

**問** ぐんま緑の県民基金(繰越)2109万2000円について、事業費に対し歳入の割合が4割程度となっていないか。

**答** 下仁田町ぐんまの木で家づくり支援事業について、新築3件・改



大桑原地区内

着工前



完成

るが、6割が地元負担ということか。

**答** 当事業については、平成26年度繰越事業分として実施したものであるが、地元より負担金は徴収していない。

**問** 下仁田町ぐんまの木で家づくり支援事業について、新築3件・改

装1件に対する補助との報告を以前に受けたが、対象者は元々町内に在住する者のみか。町外から転入し、住居を構えた者はいないか。

**答** 新築・改装とも、以前から町内に在住している者である。

**問** 電気自動車急速充電器保守について、急速充電器の保守および利用状況はどのようになっているか。

**答** 急速充電器については、町の維持管理負担として保守点検費・損害保険料・電気料で計57万3000円余を町が負担している。しかし電気自動車の普及を目的とし、トヨタ・日産・東京電力等が出資する会社(合同会社日本充電サービス)から「充電機インフラ支援金」が、前年度の実績に応じて翌年度に入ってくる。

利用件数については、平成27年度で377回・月平均で約31回、今年度の月平均は現時点で約34回と増加している。

**問** 昨年のジオパーク再認定審査後の対応について。

**答** 昨年の11月に日本ジオパーク委員会による再認定審査が行われ、条件付の再認定となった。その後同委員会からの改善指摘については、協議会員の委員構成改善および4つの専門部会設置等、ボトムアップ型の組織の改善をはじめ、各専門部会で摘事項についての対応を開始している。

**問** PCB処理委託料は終了したのか。また、LEDに変えたのなら、今後、蛍光管の処理が必要か。

**答** 学校としての処理は終了した。処理は必ず必要になると思われる。

**問** 備品購入費のノートパソコンの台数と単価

について説明された。また、交換の目途は何年か。

**答** 教師用ノートパソコンで小学校22台、中学校9台、計31台を順次交換し、1台あたり約15万円。交換の目途は、一応5年だが、前回の交換は、ウインドウズXPのサポート期間終了によるものである。今回は動作が悪く教職員から要望があったため交換した。

**問** パソコン教室のパソコンはリースだが、教師用パソコンが買取とリースで価格の比較をしているのか。

**答** 5年リースと決めた当時の経緯は把握していないが、今回は買取の方が安かったため買取とした。保守点検は、2か月に1度行っている。

**問** 定期的に行っているか。リース料に保守点検は、含まれていないのか。

**答** 5年リースと決めた当時の経緯は把握していないが、今回は買取の方が安かったため買取とした。保守点検は、2か月に1度行っている。

**問** 学校管理運営備品購入費の123万4000円について。

**答** 中学校1年生・2年生の机と椅子の入れ替えで、昨年度は3年生に対し実施した。108セットで単価1万2270円と税分である。

**◆平成27年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について**

**問** 国保人問ドック補助金について。

**答** 下仁田厚生病院で委託契約を結んで実施している。日帰り173人、泊20人、計193人分に対する補助である。前年度は175人の実績があり、申し込みが増加したので44人分79万6000円の増額補正を行った。

**問** 下仁田厚生病院での人問ドックの収容人数はわかるのか。

**答** 一週間に10人ほどで年間480人くらい収容できる。

**◆平成27年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について**

**問** 介護保険料について。

**答** 全国的に介護給付費が増加しており、国は介護給付抑制のため、事業対象者区分を設定し、国基準より安価な町独自の介護給付サービスを推進している。当町の介護保険料基準単価は平成27年4月より6万円から7万8000円（年額）に引き上げたことにより、2万6000円の黒字となった。近年、介護給付費も大きな伸びもないので、できれば、値上げしない方法で検討したい。

**問** 督促手数料の2万3000円の231人分は多いのでは。

**答** 納付書による介護保険料は年間9期に分けて徴収していることから、同じ方が数期分滞納しているケースがある。実人数で30人ほど

になる。

**◆平成27年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について**

**問** 公会堂の水道料金免除はすべてが対象か。また、いつから実施しているか。

**答** 町全体で63カ所の公会堂が対象となっている。うち閉栓中で無い55カ所分の免除を行った分について一般会計から負担金として繰り入れている。免除は、平成22年4月から実施している。

### 予算決算年間傍聴者数

平成27年12月定例会	平成27年12月11日	14人
平成28年3月定例会	平成28年3月10日	5人
平成28年6月定例会	平成28年6月8日	0人
平成28年9月定例会	平成28年9月12日・13日	5人



# 審議結果

## 9月定例会

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表しています

議案番号	議案名	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	原秀男	岩崎正春	欠員	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	審議結果
	議員派遣の件について（報告第4号）												
	有限会社産業開発しもにた経営状況の報告について（報告第5号）												
	平成27年度決算に基づく健全化判断比率について（報告第6号）												
	平成27年度決算に基づく公営企業資金不足比率について（報告第7号）												
59	下仁田町等公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	同意
60	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	同意
61	下仁田町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
62	下仁田町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
63	下仁田町急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例を廃止する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
64	平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
65	平成28年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
66	平成28年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
67	平成28年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
68	平成28年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
69	平成28年度下仁田町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
70	平成27年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○		×	○	○	○	○	認定
71	平成27年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定
72	平成27年度下仁田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定
73	平成27年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定
74	平成27年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定
75	平成27年度下仁田町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定
76	平成27年度下仁田町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定
77	下仁田町議会の議員の諸給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決

※佐藤勇二議長を除く10人で採決を行います。

⑤ 下仁田町消防団



昨年度消防庁から無償貸与された消防ポンプ自動車に搭載されている救助資材を使った訓練

第三分団 分団長 岡野 晴美

下仁田町消防団第三分団は、下小坂・中小坂地区の第1部、上小坂地区の第2部、東野牧地区の第3部、人員は分団長以下34名、消防ポンプ車1台、可搬ポンプ車2台の体制で活動に携わっております。

担架・応急処置セット、水害時に備え救命浮環・フローティングロープ（水に浮く）、震災時の倒壊建物を浮かせる油圧ジャッキ・可搬ウインチ等の火災のみならず、水・震災に対応できるスパー消防車となっております。

活動報告は、平成27年の10月に総務省消防庁より、救助資機材搭載型消防ポンプ車（4WD）を消防団として県内初で第3分団第1部に配備していただきました。消火作業ツールは当然、自動車のドア等をこじ開ける電動コンピツール、鉄製品を切断できるエンジンカッター、倒木も撤去できるエンジンチェーンソー、夜間作業も可能になる発電機付投光器、もの時の自動体外式除細動器（AED）・布

そして配備に伴い分団長・部長・班長で県消防学校において、地域防災指導・救助救命・火災防衛・水災活動等の訓練を受講して参りました。各団員に技術指導し毎月の火防・警戒活動はもとより、何時起こるやもしれない災害に対して訓練・機器の確認整備を行い、有事の際に地域の皆様の人命・資産を守る様これからも努めてまいります。



議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。  
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は12月の予定です  
議会傍聴をお待ちしています。  
日程などのお問い合わせは  
☎64-8810



編集室から

議会だより第75号をお届けします。

本号は、平成28年9月定例会と9月26日に開催された議会報告会について編集しました。

11月に入りますと、紅葉が見ごろを迎えますが、春の桜前線は南から北へ進み、逆に紅葉前線は北から南へと1日平均27キロほど進むと言われ、約50日で

日本列島を横断すると言われます。皆さんもこの秋はドライブに出かけ紅葉狩りを楽しんでください。（食欲の秋、くれぐれも、食べ過ぎや飲み過ぎには注意してね・・・笑）  
K

広報発行特別委員会

- 委員長 永井正之
- 副委員長 岡田邦敏
- 委員 木暮弘元
- 岩崎正春
- 島崎紘一